

学生が修得すべき能力の達成度(卒業時)自己評価シート

《平成28年度実施》

1. 各能力は、■大学での授業(ゼミ、実習等含む)・海外留学、■大学でのサークル活動・ボランティア活動、■地域での諸活動を対象として、総合的に自己評価してください。
 2. 下表の各要素の達成度について、あなたが入学後から現時点までの間で自己評価した結果を、該当するレベル欄に○印を付けてください。

学部
経済学部

本学が育成する能力	社会人基礎力レベル評価基準表						
	3つの力	12の要素	定義	レベル1	レベル2	レベル3	発揮できた例(※)
				できなかった (発揮できなかった)	できた	よくできた (見事に発揮できた)	
問題発見型先見性	前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組む力				自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる 自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる 自分なりに判断し、他者に流されず行動できる
		働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力				相手を納得させるために、協力することの必然性(意義、理由、内容など)を伝えることができる 状況に応じて効果的に巻き込むための手段を活用することができる 周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている
		実行力	目的を設定し確実に行動する力				小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる 失敗を怖れず、とにかくやってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる 強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる
	(自由記述) 自己評価に際してのコメントを自由に記してください。						
課題解決能力	考え抜く力	課題解決力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力				成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる 課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている
		計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力				作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる 常に計画と進捗状況の違いに留意することができる 進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる
		創造力	新しい価値を生み出す力				複数のもの(もの、考え方、技術等)を組み合わせて、新しいものを作り出すことができる 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる 成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探している
(自由記述) 自己評価に際してのコメントを自由に記してください。							
リーダーシップを発揮できる能力	チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力				事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる 聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる 話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝えている
		傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力				内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる 相槌や共感等により、相手に話しやすい状況を作ることができる 相手の話を素直に聞くことができる
		柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力				自分の意見を持ちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れることができる 相手がなぜそのように考えるかを、相手の気持ちになって理解することができる 立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる
		状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力				周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる 自分ができること・他人ができることを的確に判断して行動することができる 周囲の人の状況(人間関係、忙しさ等)に配慮して、良い方向へ向かうように行動することができる
		規律性	社会のルールや人との約束を守る力				相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している 相手に迷惑をかけたとき、適切な行動を取ることができる 規律や礼儀が特に求められる場面では、相相のないように正しくふるまうことができる
		ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力				ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りても取り除くことができる 他人に相談したり、別のことに取組んだりする等により、ストレスを一時的に緩和できる ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、置く受け止めすぎないようにしている
(自由記述) 自己評価に際してのコメントを自由に記してください。							

提出方法：1月20日までの研究指導論文提出時に、経済学部教務係へ提出してください。

本件問い合わせ先：グローバル教育推進室(清水)
078-803-5256 iphe-ghrd@edu.kobe-u.ac.jp

ご協力ありがとうございました。